



広場

市長随筆



天草エアラインの
神戸線就航に思う

9月4日、天草エアラインの天草・熊本―神戸線が就航し、神戸空港で行われた記念式典に出席しました。

新路線への期待と天草に対する反響は大変なもので、新たな観光戦略に取り組んでいきたいと考えているところです。

式典では、関西にお住まいの天草出身者でつくるふるさと会の代表の方々から、たくさんのお言葉をいただきました。また、神戸在住で御所浦出身の女性が「天草」という旗を見て駆け寄って来られ、「天草が近くなってとてもうれしい」と喜ばれるなど、ふるさと天草につながる空の道を大切に思っておられる気持ちが、ひしひしと伝わってきました。

天草エアラインは厳しい経営状況が続いていますが、熊本―神戸線は以前就航していた航空会社の利用状況を基に年間約1万5千人の利用を見込んでおり、業績の回復を期待しています。

式典終了後には、神戸の繁華街・三宮で観光PRを行いました。神戸の皆さんの

しかし経営とは別に、今回、神戸の皆さん方と接し、天草に住んでいる私たちこそ天草エアラインを大切にしなければならぬ、と教えられたような気がしました。

天草市長 安田 公寛

宝島の健康
よさ屋



荒田 ナツエ さん
(倉岳町浦・89歳)

――毎日の楽しみは？
老人会の友だちと、おしゃべりをして盛り上がること。また、ふれあいいき

きサロンで、いろんなゲームやわらざうり作りなどをするのも楽しみです。近くに孫が暮らしていますが、いっしょにいろんなところの温泉へ出かけて、ゆっくりお湯につかることも楽しみの一つですね。

――健康の秘訣は？
娘夫婦といっしょに、自宅近くの道路沿いにある花だんの手入れをすること。また、野菜作りなどをして体を動かすことも健康の秘訣ですかね。



原田 幸博 さん (新和町小宮地・22歳)

新和地区にあるガソリンスタンドに勤務。“いつでも笑顔を絶やさない”をモットーに、日々の仕事をがんばっています。

今の1番の楽しみは、ミニバレーをして汗を流すこと。友人たちとチームをつくり、約2時間の練習を週4回行っています。天草で1番強いチームになることが目標です。



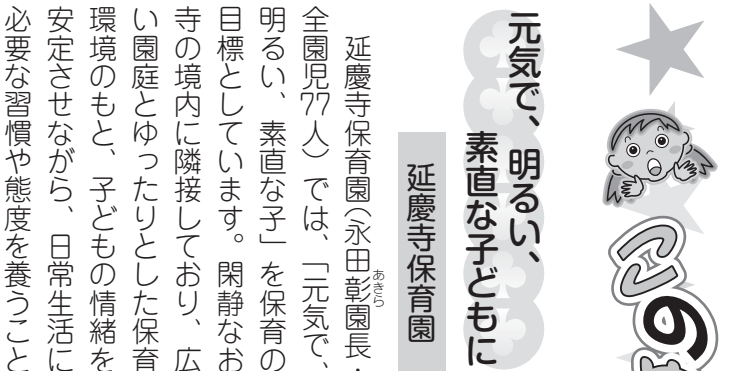
地域との交流活動を通して育成

牛深幼稚園

牛深幼稚園(小川千賀園長)は、全園児が10人と少人数ですが、元気いっぱいの園児ばかりで、毎日笑い声が絶えません。

「健康で明るい子ども・思いやりのあるやさしい子ども・感性豊かな子ども」を教育目標に、各種の活動に取り組んでおり、特に、地域の皆さんとの交流を通して、子どもたちの育成を図っています。先日は、鬼塚老人会との寄り合いを行い、10月からいっしょにグラウンドゴルフをすることになりました。その中で、いろんなことを学ばせていただきたいと思います。

また、卒園後の預かり保育も実施しており、子どもたちは家庭的な雰囲気の中で毎日の園生活を送っています。



元気で、明るい、
素直な子どもに

延慶寺保育園

延慶寺保育園(永田彰園長・全園児77人)では、「元気で、明るい、素直な子」を保育の目標としています。閑静なお寺の境内に隣接しており、広い園庭とゆったりとした保育環境のもと、子どもの情緒を安定させながら、日常生活に必要な習慣や態度を養うこと

を心がけています。年中行事のほか、年長クラスは月1回、スポーツクラブの講師による体育遊びを行っています。マット遊びやプール遊び、縄跳び、ボール運動などを通して健全な体をつくることに、人と和になって遊ぶことの楽しさを味わっています。



元気いっぱいの青組(4〜6歳児)の皆さん

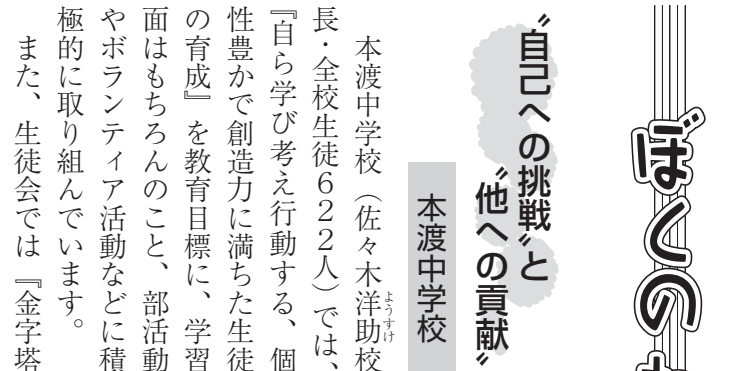


自信とやさしさ輝く児童たち

一町田小学校

一町田小学校(芥川学校長・全校児童126人)では、『一礼あいさつを広げ、自信とやさしさ輝く一町田小』を児童会スローガンに、朝の登校のときから地域の人たちとの「おはようございます」「はい」という元気な声の会話(和)が広がっています。

部活動にも積極的に取り組んでおり、各種大会で上位入賞を果たし、子どもたち一人ひとりの自信となっているようです。女子ミニバスケットボール部は、10月に行われる天草郡市ミニバスケットボール大会での優勝と3年連続の県大会出場を目標とし、部員自らが進んで早朝や昼休み時間に練習を行うなど、一人ひとりが集中力を高め、チームに貢献しようとがんばっています。



本渡中学校

本渡中学校(佐々木洋助教長・全校生徒622人)では、『自ら学び考え行動する、個性豊かで創造力に満ちた生徒の育成』を教育目標に、学習面はもちろんのこと、部活動やボランティア活動などに積極的に取り組んでいます。また、生徒会では『金字塔

計画』を立てました。この計画は、これまで受け継がれてきた伝統を、さらに良いものにして、平成22年度からの新・本渡中へ引き継ぐため、生徒一人ひとりが最高の自分をつくり上げようとするものです。そのため、『自己への挑戦』と『他への貢献』をスローガンに、3年生は「本中の顔」、2年生は「本中の心臓」、1年生は「本中の脚」として行動しています。



体育大会での熱気あふれる応援団の演技!